

以つて、修増築を行ふことにしたのであります。然して、昭和六年六月より修増築工事を始め、八月中旬に於て完成いたしました。設備品と共に約壹萬五千圓を要し、豫定の金額の三倍に上りました。

然るに、寄附金受領總額、約壹萬圓でありますので、總支出約五萬五千圓に對し、二萬五千圓の不足を生じました。然るに、寄附金受領總額、約壹萬圓でありますので、總支出約五萬五千圓に對し、二萬五千圓の不足を生じました。然るに、寄附金受領總額、約壹萬圓でありますので、總支出約五萬五千圓に對し、二萬五千圓の不足を生じました。

斯くて、唯一館は、日本労働會館として誕生し、面目を一新するに至りましたが、これが管理は、公正嚴格に行ひ、其諸事業の健全なる發達を期して、寄附者の御芳志に報ゆる爲に、財團法人日本労働會館を組織し、これに建設委員會は、一切の財産を寄附することに決し、法人認可の申請を行ひたるころ、昭和六年八月十七日付を以つて、これが認可を得るに至り、無事手續を完了いたしました。

唯一館の歴史

唯一館は自由基督教の傳導を目的とし、明治二十七年に建設されたものであるが、爾來四十年間、日本の社會運動には非常な貢獻をいたしました。我國の社會思想、社會運動は、この建物より出でたりと云ふも過言でないであります。即ち、福澤諭吉、片山潛、安部磯雄、吉野作造の諸氏は、この唯一館と密接な關係を有し、自由主義、社會民主主義、無政府主義、共產主義等々の思想も、この建物を中心に轉廻いたしました。我國最初の無産政黨たる安部磯雄氏等の社會民主主義は、明治三十二年結黨後直に解散を命ぜられたが、その結黨準備は此處で行はれました。鈴木文治氏により大正元年八月、此處で創立された友愛會は、現在、日本労働總同盟として活動して居りますが、周知の如く我國労働組合の左右、中間各派の主流は、労働總同盟より分裂したものであり、この各派組合を中心に、各無産政黨が對立發生いたしました。この外、農民組合運動、労働者教育運動も、源を此處に發して居ることは、既に御承知の事と存じます。

斯くの如き、山積ある建物でありますし、現に二十年來一貫して、我労働總同盟は此處に本部を持つて来たのでありますから、之を總同盟の所有たらしむる様しほ、奔走いたしました。然し種々なる障害に依つてその實現を見るに及びませんでした。今、今回日本労働會館として、事實上、總同盟の手に收められたのであります。これに就いて安部磯雄氏は「私がこの建物に關係したのは、明治三十二年のことで、今から三十二年前である。その三十二年前に關係したものが、私から長く失はれて、再び返へる望みも殆んど無いと思つたのであるが、これが總同盟の手に依つて見付けられ、總同盟の手へ返つたが、私の個人の心持から言へば、何だか私の手へでも返つて来た氣持がして、こんなに嬉しいことは近頃ないのである」(労働八月號)と申されて居ります。

將來の理想

財團法人日本労働會館は、それ自體は労働組合と別箇の存在であります。然し乍ら、こゝに於いて、その目的として掲げてあります各種の事業が着々實現されて行きますならば、唇齒の關係に在る労働組合の健全なる發達の上に、非常な貢獻をすることは、申す迄もありません。私共は、やがて日本労働會館が第二期の計畫を完成し、その事業網を日本全國に張り渡し、労働者の經濟生活、文化生活の向上を齎し、その教養を高め、労働組合の職分中の一つを分擔することが出来る様になることは、餘り遠くない將來であると確く信じます。この理想が實現されてこそ始めて、日本労働會館建設に努力され、援助された人々の尊き誠意に報ゆることが出来るものと信じます。

感謝を捧ぐ

昭和六年九月二十七日、日本労働會館の開館式を舉行するに當り、特に左の人々に感謝の念を捧げ度いと存じます。故マツコーレー博士、鈴木文治氏、安部磯雄氏、吉野作造博士。

マツコーレー博士はカナダの人、明治三十年代我國に來朝、唯一館、ユニテリアン協會を指導し、特に労働總同盟の前身友愛會を至誠を以つて援助された事は私共の忘るべからざるところであります。鈴木、吉野、安部の諸氏に就いては、こゝに改めて贅言を必要としないところであります。

又田村虎藏氏には土地及建物の買収に關して、御同情と御理解の下に種々熱心なる御盡力を受けました。相當高價格を有するものが、四萬圓を以つて譲り受けることの出来たことは、日氏の御盡力の賜であります。土浦龜城技師には、會館修築に就いて技術上の御援助を受けました。こゝに記して感謝の意を表します。

終りに、日本労働會館の爲に、營々とし努力されたる幾萬の組合員諸君、建設委員の諸君に對して、深甚の敬意と感謝を捧げ度いと思ひます。